

公営企業決算特別委員会 開催(10月16日・17日)

決算無くして予算なし



9月定例議会閉会后、二日間にわたり開催された愛知県公営企業に関する決算特別委員会において質問。「予算(額)」に注目が集まりますが、正しく執行されたか?期待した効果をあげたか?振り返りが何より大切。「決算から始める予算」の重要性を訴えていきます。



(決算特別委員会室にて)

1) 用地造成事業会計について

(質問)「蒲郡海陽地区」については、企業庁取得から11年が経過する。アクセス道路の開通まで10年以上を要することが判明した以上、商業施設利用以外も検討すべきでは?

(答弁)「(従来の商業施設利用に限らず)幅広く利用を検討していく」

2) 病院事業会計について

(質問)医療提供の基盤である看護師の確保・定着に向けた取組、及び入退院支援センター新設の効果は?

(答弁)・本年4月1日現在、定数886人に対し891人。予め一定数の過員を配置し、病院運営に支障が生じないよう努めている。

・離職率7.2%(全国離職率11.3%)

・従来の情報発信や見学実施に加え、「民間マンシヨンの借上による看護師宿舍の確保」や院内保育所の活用により確保対策に努めている。

令和7年度「教育・スポーツ委員会」副委員長 就任

「アジパラ予算」「学習用タブレット端末自費問題」など課題山積

令和7年度「教育・スポーツ委員会」所属へ。

杉江繁樹委員長(常滑市選出)の下、「副委員長」を拝命。教育分野において、中高一貫校の開校など学びの多様化が加速。一方で、急速に進む少子化を踏まえた公立高校の再編も急務です。国会における私学授業料無償化の議論が加速する中、地域社会の高度人材育成を担う拠点として県立学校における「学び」のアップデートにむけた議論も加速していかなければなりません。令和8年から始まるタブレット端末の自費購入(BYOD方式)への対応など、待ったなしの課題に対処して参ります。

また、スポーツ分野では開催まで1年を切ったアジア・アジパラ競技大会の成功に向けた準備が急ピッチで行われています。大会を盛り上げるべく機運醸成にむけた取組をはじめ、バリアフリー化などホスト県として大詰めを迎えます。一方で当初計画の3倍超となる

開催予算「3,700億円」については、大会の成功を念頭に置きつつ、県民生活へのしわ寄せがでないよう来年度予算について厳しく精査して参ります。



(「教育・スポーツ委員会」委員会室にて)



時事 コラム

大型イベント誘致の在り方を考える

開催まで1年を切ったアジア・アジアカップ競技大会。大会経費が3,700億円に達すると報じられました。内訳が示されていないため、詳細不明ですが、当初1,200億円と見込んでいた開催経費が、実に3倍となる見込みです。昨今の資材費や人件費などの物価高騰を踏まえれば、一定程度経費増額はやむを得ない

一方で2500億円にも及ぶ差額についての議論が県議会において行われないまま、開催まで1年をきることは問題です。不足を補う財源は、すべて税金です。「誘致ありき」ではなく、地域にとってのメリットデメリットを十分に検証したうえで誘致合戦に臨んでいく、イベント誘致の在り方も転換点を迎えています。

トピックスピックアップ!

1 パーキング・パーミット制度 導入決定

「パーキング・パーミット制度」とは障害のある方など歩行が困難な方に対して、専用の駐車区画を利用できる利用証を交付することにより、対象者の明確化と適正利用を図るものです。愛知県においても2026年6月から導入予定。

▽問合せ先

県福祉局障害福祉課業務・調整グループ
電話 (052) 954-6294

3 県カスタマーハラスメント 防止条例

2025年10月1日施行のカスハラ条例。県では事業者による防止対策を支援するため、「相談窓口の開設」(2025年9月17日～)「アドバイザー派遣」(利用無料)(2025年9月17日～2026年3月31日)を行います。詳細はお問合せください。



「オンライン相談フォーム」

▽問合せ先

県カスタマーハラスメント防止対策事業事務局
(啓発及び相談・助言)
電話 (052) 990-6287

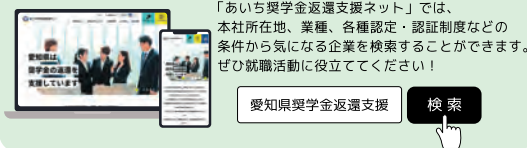
2 奨学金返還を支援する 中小企業等を応援

中小企業の人材確保を目的に、従業員の奨学金返還を支援する中小企業等を対象に補助金を交付しています。詳細はポータルサイト「あいち奨学金返還支援ネット」参照。

あいち奨学金返還支援ネット



愛知県奨学金返還支援企業を探すには



▽問合せ先

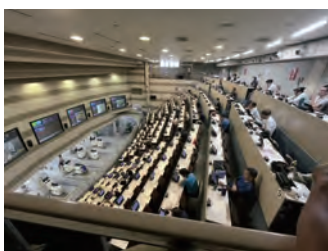
県労働局就業促進課若年者雇用対策グループ
電話 (052) 954-6366
(ダイヤルイン)

フィールドワーク レポート

生成AI学習中



(スタートアップ企業による「生成AI」に関する 団研修会)



(豊明花き市場競りの様子を視察)



(「第77回教育表彰」へ参加)

無料相談 受付中

毎月第一土曜日 (9:00~12:00)

ご予約は TEL:052-602-4077
※事前にご予約をお願いします。
公務等によりお日にちが変更となる場合がございます。

県政レポート 配布サポーター募集

江原シロー事務所では、定期的に発行する県政レポートをお配りするにあたり、一緒に配布をしていただけるサポーターを大募集中です。ぜひお気軽にお問合せください。

お問合せ先

江原シロー事務所まで

愛知県政へのご要望・ご意見をお待ちしております

◎愛知県議会議員江原シロー事務所

E-mail / info@s-ehara.jp

住所 / 名古屋市中区丸の内一丁目11-19

電話 / 052-602-4077 FAX / 052-602-4088

公式HP



https://s-ehara.jp

日頃の活動情報はこちら!



Facebook



Instagram

江原シロー [江原史朗] 略歴

1981年	10月6日生
2004年	早稲田大学教育学部卒業後、民間企業(建材商社・住宅ディベロッパー)にて、営業職や新規事業の開発等に従事
2006年	衆議院議員 牧義夫 秘書
2015年	一般社団法人あいち障がい者・障がい児支援センター設立
2016年	参議院議員 伊藤孝恵 公設第一秘書
2019年	衆議院議員 牧義夫 秘書
2021年	衆議院議員 牧義夫 公設第一秘書
2023年	愛知県議会議員(南区)初当選

資格

- 訪問介護員2級養成研修課程修了
- 福祉用具専門相談員
- 証券外務員2種
- 第3級アマチュア無線技士
- 大型自動車二輪免許

46 報告の義務

議員は社会全体の奉仕者です。だからこそ、議員の給与は税金によって賄われています。議会活動を通じて、地域社会を今日より明日、少しでも良いものにする。そのための役割が「議員」です。

愛知県の施策や課題、議会の状況を報告することは議員の当然の仕事であり、ピラや街頭、県政報告会などを通じ、県民の皆様へ常日頃から報告することは義務だと考えています。「政治不信」が叫ばれて久しい今だからこそ、政治や政治家が何をやっているのか、様々な場所で、様々な手段で見える化を実現します。